

文

化

されがちだ。なぜなら、どうした神業は科学的に説明が難しいからだ。しかも現在、武術の世界で卓越した強さの人などいうのはあまりないため、なおさら実感がわからない。

ができた。
たとえば、剣道では上段
から打ち込むと下段が打
ち込みのとでは圧倒的に
上段が有利とされている。

ほどのことしてもほどけない。ほとんど力を使わないで、大きな体の相手を宙に浮かせる。(いずれも私が身につけた技だ。ある大学の柔道部で実践して見せたところ、四十六歳の私が二十代前半の彼らを軽くひねつたものだから、彼らは仰天していた。彼らが□をそろえて言るのは、不思議な手

を変えることにより、小さな力でも大きな相手を動かすことができる。しかし、体格差がある程度以上になると、この原理は効果を發揮しなくなる。現実には柔道の世界選手権などでは、「小さく大を制す、柔よく剛を制す」という理念は現実味を失っている。

てこの原理は田運動と組

題があつた。私の術理の本は身体をねじらないことにある。ねじらないことで相手の力を受け止める支撑が消失する。だから、私は組んだ相手は手ごたえのを感じるので。こうして術理が発見できたのはつい三年ほど前のこと。だが、実はこれは明治以前の日本人の自然な動きの再発見だ。

相手の微妙な動きを読んで動いている。だから、ひょいと肩や腰を支点とする動作をやめると、従来のところ原理と円運動の使い手にこちらの動きが情報として伝わらない。力の入れどころが分からぬ。微妙な報の組み合わせで人間の動きは成り立っているからそこに理解できない情報を取り込んでやることに

やき
て最初は合氣道に入門、続いて剣術を修めた。三十歳を前に自分の道場を開き、以後古武術を独自の解釈で研究してきた。

武術の世界には神業と呼ばれる特殊な技を操った達人の伝説が無数にある。老人が頑強健な若者を投げ飛ばしたとか、抜き身で切りつけてきた敵を後から抜いて倒したとか。しかし、現代ではこうした逸話は後

それは神業は再現できる。
そう信じて、二十年近く自分の道場で稽古（けいこ）を続けていた。

最近になってようやく神業の秘密につながるいくつかの術理が見つかり、その成果を「武術で拓く身体の思想」（合気ニユース）な

しかし、私は相手から上段を構えていても、「下段の構え」から先に打ち込むことができるようになった。剣道の常識からすれば、まったくありえないことだ。しかし私は道場を訪れた大勢の人々に実際に私が打ち合って体験してもらっている。

身体をねじらない
現代の柔道や合気道では、この原理が最も基本の原理となっている。つまり相手を投げたり、関節をきめたりするのに、ある支

み合わさって、大半の技の基本の動きを構成していく。つまり、身体をねじることによって力を生み出

武術の世界には神業と呼
ばれる特殊な技を操った達
人の伝説が無数にある。老
人が頑強健な若者を投げ
飛ばしたとか、抜き身で切
りつけってきた敵を後から抜
いて倒したとか。しかし、
現代ではこうした逸話は後
世の作り話として一笑に付

それは神業は再現である。
そう信じて、二十年近く自分
の道場で稽古（けいこ）
を続けていた。

しかし私は相手が上段構えていても、下段の構えで、から先に打ち込むことがができるようになった。剣道の常識からすれば、まったくありえないことだ。しかし私は道場を訪れた大勢の人々に実際に私と打ち合って見てもらっている。

密はそこにある。
こたえのなきた。確かに秘
し

み合わさって、大半の技の
基本の動きを構成してい
る。つまり、身体をねじる
ことによって力を生み出
す。しかし、ここぞ開

武の神業伝説生き返らす

◇身体の動かし方研究、道場開き実践続けるへ

甲野 善紀



日本經濟新聞

1996年(平成8年)2月23日

ほした動作が消えて、動きは格段に速くなるのだ。

△△△

どんどん動きが速く、私が武術の道に足を踏み入れたのは二十歳過ぎ。武術の心得はなかつたが、ある日、「人間の運命は決まっているのか」という疑問がわいた。人間にとって自然とは何なのか。自分の身体の可能性を突き詰めたくて最初は合氣道に入門、続いて剣術を修めた。三十歳を前に自分の道場を開き、以後古武術を独自の解釈で研究してきた。

私の道場に来ているのは二十一三十代の男性が大半。空手や合氣道、剣道などさまざまな武術の経験者がいる。いろいろな格好の生徒さんが思い思いに自分の技を磨く。掛け声や号令は一切なし。強くなつて大会で優勝するための道場ではない。あくまでも純粹に稽古をし、伝説の神業を追体験するための実験室だ。

そのかいあって基本的な術理自体が毎日のように進化している。私自身もどんどん動きが速くなつていい。日本武術の流れをさかのぼる試みはまだ始まつたばかりだ。(こうの・よじのり) 武術稽古研究会松聲館主宰